

広島県鉄構工業会青年部会

横のつながりで成長

広島県鉄構工業会青年部会（部会長＝遠藤



あいさつする遠藤部会長

健太・遠藤工業専務）は9日、広島市で第32回通常総会を開催した。広島県鉄構工業会の山本泰徳理事長（ステントス社長）も訪れ、21人が参加した。

一方、中小物件は少ない状況だ。材料高騰などの問題も残るが、引き続き協力し合っている。青年部会は横のつながりが増え、成長もできる場。本年度は対面での事業を活性化し、青年部会らしい活動を継続していきたいとあいさつ。

ある。常に10年、20年先をイメージしながら目標を立て、業務に取り組んでほしい。今後は青年部会が中心になる時代に入る。若手の優秀な技術者や技能者が集まる、さらに全国に誇れる青年部会を目指してほしい」と祝辞を述べた。

議案審議では23年度の事業計画が発表された。本年度は各種講習会のほか、ホルトメーカーの工場見学会なども予定する。

遠藤部会長は「地区の建築需要は大型物件がある程度動いている



祝辞を述べる山本理事長

総会の冒頭には、広島県鉄構工業会の創立50周年式典で行った、青年部会による「未来宣言」の映像を公開。青年部会では鉄骨ファブ業界のさらなる地位向上、「きれい、高収入、休暇あり」の新たな3Kの確立などを目指す。